

日本共産党 石田 秀三 議員

施政方針と新年度予算について

(質問) 市長は施政方針で「まず職員力の強化が不可欠」と述べたが、どのような人材を育成しようとしているのか。「職員力」という言葉を使うのなら、マニュアルに縛られ応用問題のできない人ではなく、「人間性の向上」を第一に掲げ、市民の悩みや苦しみに心を寄せ、どうすればその人の暮らしを支えていけ

るのか、共に考えることのできる職員像を理想に、人材育成を進めるよう提言する。

(答弁) 本市の職員として目指すべき職員像は、市民の立場に立って考え、信頼関係を築くことができる人間性豊かな人材である。

時としてマニュアルに基づいた対応だけではなく、求められているニーズは何であるのか、いかなる対応が必要であるのかを意識し、配慮する姿勢が必要であると考えている。

それぞれの職員が、その職員力をより高められるよう人材の育成に努めていく。

公明党 藤浪 清司 議員

施政方針について

(質問) 災害から市民を守る取り組みについて、地震発生時の避難者や帰宅困難者などの救助物資を計画的に備蓄するための取り組みを尋ねる。避難計画、特に、高齢者や障がい者などの要援護者に対する避難支援が重要であるが、災害から市民を守る取り組みを尋ねる。

(答弁) 過去最大クラスの南海トラフ地震が

発生した際、本市の避難所への想定避難者数1万2,000人に対して、非常食や毛布などの備蓄物資を更新も含めて充実させていく。

非常食については、2023年度を目標に、現在の約1万5,000人分の備蓄から、想定避難者数の2日分である、延べ2万4,000人分へ計画的に充実させていく。災害時の要援護者対策として、避難訓練や避難所開設訓練などにおいて、地域で暮らす高齢者や要援護者に対する安否確認の配慮など、支援の具体化が図られるよう啓発を進めていく。

市民クラブ 原田 勝二 議員

平成30年度施政方針について

(質問) 過去には通学路の縄手道にLED型灯具が設置されたことで、子どもたちの安心・安全が図られた。駅に防犯カメラを設置し、犯罪予防に取り組むとあるが、今後の計画を問う。広域観光やインバウンドによる外国人観光客の拡大、白子駅改修に伴う本市の地域資源の効果的な発信について問う。

(答弁) 市民の皆さまが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的に、防犯カメラを平成30年度に三日市駅と千代崎駅に設置予定である。小中学校の通学路における防犯カメラの設置については、鈴鹿警察署などと情報共有しながら今後の対応を検討していく。周遊モデルルートを作成や、ターゲットの絞り込みで外国人観光客をはじめ多くの誘客につなげる。市の玄関口にふさわしい白子地区の環境整備を進めていきたい。

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は18ページをご覧ください。

無所属 宮本 正一 議員

中学校の部活動について

(質問) 市内公立中学校における活動状況と、スポーツ庁指針に基づくガイドライン策定の方向性や今後の部活動のあり方について問う。

(答弁) 部活動は教育課程外の活動であり、学校教育の一環として教育課程と関連が図られるよう位置付けられている。活動時間については平日1時間から3時間程度であるが、休日の活

動時間は各部活で異なる。休養日は全体の45%が月4回未満であるため、週1日以上休養日を設定するよう各中学校に指示し、今後は三重県部活動ガイドライン策定を踏まえ、鈴鹿市運動部活動指針の見直しを進める。外部指導員については、効果的な活用につなげるための体制整備を検討する必要があると考えている。高校入試の調査書に、部活動加入の有無や実績を数値化して加算する箇所はなく、外部団体に所属する生徒も確認の上、校内部活に所属する生徒と同様の対応としている。